

有害物質／廃棄物対応

WEBはこちら <http://www.cosmo-oil.co.jp/sustainable/06/env/response.html>

有害物質の適正管理、産業廃棄物の削減と再資源化により、環境負荷の低減に努めます。

取り組みの考え方

製油所などでは、大気汚染防止法や水質汚濁防止法の規制対象となる排ガスや排水を排出します。また、PRTR制度などの対象となる化学物質も取り扱います。コスモ石油グループは、適切な管理に努め、環境負荷の低減を図っています。また、大型設備の導入や大規模工事の実施の際には、環境影響の評価を実施しています。

産業廃棄物については、自主目標を設定し、発生量を抑制するとともに、余剰汚泥の削減および再資源化の推進を行っています。

産廃ゼロ化への挑戦

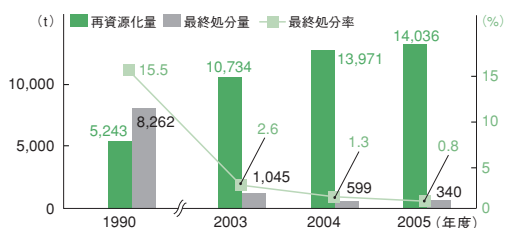
製油所の産業廃棄物削減

製油所では、2005年度新たに、脱水・焼却により減量化した汚泥のセメント原料化や廃プラスチック・木くずの固形燃料化などのリサイクルを進めました。こうした活動の結果、2005年度の最終処分量は340トンとなり、連結中期環境計画で設定した目標（ゼロエミッション：最終処分率1%未満）をクリアする0.8%（4製油所のみ）を達成しました。

▼グラフ2

4製油所産業廃棄物量の推移

WEB 詳細データ <http://www.cosmo-oil.co.jp/sustainable/06/env/response.html>



余剰汚泥削減

排水処理施設から排出される余剰汚泥は、日本において発生する産業廃棄物の中で最も多くの割合を占める廃棄物であり、コスモ石油の製油所において全産業廃棄物発生量の約56%を占めることから、その対策は非常に重要です。これまで、製油所で発生する余剰汚泥削減の削減技術について研究*1を行い、千葉製油所および坂出製油所で発生する余剰汚泥の大幅削減を達成しました。*1 (財)石油産業活性化センター補助事業として実施。

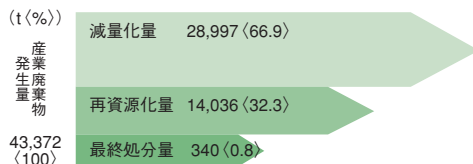
アスベストへの対応

2005年度に、コスモ石油グループが所有または賃借しているSSや製油所などの建物を対象に、アスベストの使用状況を調査しました。その結果、露出した吹き付けアスベストを16カ所確認しました。この16カ所は2006年度中に除去工事を実施します。また、吹き付け以外のスレートなどの建材や製造設備にある保温材などの一部に、アスベストが含有しています。これらは成型品であり、通常の使用では、アスベスト粉じんの飛散はないと判断していますが、補修時に順次、非アスベスト製品に交換します。その他、アスベスト含有製品の取り扱いについては、法律に基づいた対策を進めます。

▼グラフ3

4製油所産業廃棄物のフロー

WEB 詳細データ <http://www.cosmo-oil.co.jp/sustainable/06/env/response.html>



関連情報 ●大気・水質・化学物質の管理 ●有害物質対応 <http://www.cosmo-oil.co.jp/sustainable/06/env/response.html>